

## 子ども総合センターだより



# 明日もしあわせ通信 (第57号) 令和3年3月号



### 出会えたことに 感謝です



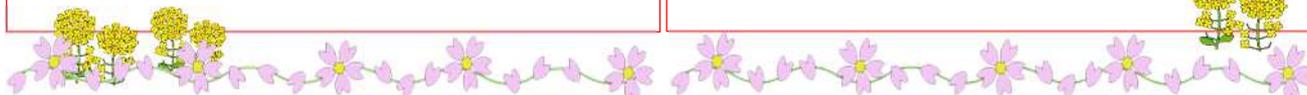
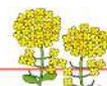
人と会えない日々が続いている。久しぶりに会ってみたいなあと思っても、連絡するのをためらってしまう。これまでのつながりが希薄になり、今後新たに人と出会うチャンスも少なくなるように思う。「人は出会うべくして出会うもの」だと思いが、出会うべき人にも出会えないのではないかと心配だ。

人が一生で出会う人の数は、いったいどのくらいなのだろうか。ネットで検索してみると、人生を80年として、何らかの接点を持つ人30,000人、同じ学校や職場・近所の人3,000人、親しく会話を持つ人300人、友人と呼べる人30人、親友と呼べる人3人、とあった。人により、おかれた環境により、人数は違うかもしれない。

振り返ってみると、自分のささやかな人生にもいくつかの出会いがあった。その出会いがなかったら、きっと今とは違っていただろうと思うことはいくつかある。少し大げさだが、自分の人生が変わったと思う出会いもある。今、ここで、こうして生きていられることはそうした出会いがあったから。出会ってくださった方全てに心から感謝したい。

これから、あとどのくらいの人に出会えるだろう。なんの心配もせず、気軽に連絡を取り合い、心から笑い、語らい、よき思い出をつくりたい。3月、4月は、別れと出会いの季節。別れはさびしいが、よき思い出と共に心に刻みたい。

(W)



### 適応指導教室「はばたき」 ～今の気持ちを大切に次の学年へ～

今年度も最後の月を迎え、はばたき教室の子どもたちも学習や体験活動でしっかりとエネルギーを蓄え、4月には新しい学年へ進級したり中学校や高校に進学したりするのを、緊張気味に待っています。

さて、小中学生の子どもの中には、新しい学年が近づくと頑張りたいという気持ちが先走り、心と体・行動がうまくついていけない子が出てきます。そのために、焦ったり緊張したりして、途中で挫折しかける子もいます。そんな時、子どもの頑張ろうという「心の灯」を消さないように、子どもの心を褒めてほしいと思います。何よりも、子どもが落ち着いて今の自分の気持ちと向き合い、少しずつ乗り切るように、皆さんで見守っていただきたいと思います。

特に、つらい時もうれしい時もお子さんの様子を一番近くで見守られてきたのは保護者の皆様です。子どもが1年の間にどのような頑張りが見られたのか、どんな出来事から強くなってきたのかなどを振り返り、直接口に出してお子さんを褒め、一緒に喜んでいただき、次の学年につなげてほしいと思います。

## 大事にしたい方言

今から45年前に「赤いハイヒール」という歌がはまりました。♪そばかすお嬢さん、ふるさとなまりが、それから君を無口にしたね♪という歌で、夢を抱いて上京したのに方言をからかわれて無口になった、という歌です。方言は恥ずべきものなのでしょうか。

普段私たちは私的な場面では方言で話し、公的な場面では共通語で話すというのが一般的ですが、その共通語は東京方言がベースとなっています。言ってみれば、共通語だって方言です。

読み書きのできる人が少なかった古代、話すことしか通信手段がありませんでした。その地域社会の気候風土の中でコミュニケーションを成り立たせていたのが方言です。方言はその地方の歴史と独自の表現体系を持っているのです。恥ずべきものではありません。もっと大事にしたい、自慢したいものです。

紅白歌合戦に連続13回出場している広島県出身の3人組ユニット「パフェーム」は、ハイテク技術を駆使したコンサートのMC(曲間の話)が広島弁で、それがまた人気になっています。方言は温かみがあっていいですね。

次の伊予の方言の意味が分かりますか。

- ① まがる(曲がるではない)
- ② つい(ついやってしまったの「つい」ではない)
- ③ こまい(来ないだろう、古米ではない)
- ④ いそしい

答えは、

- ① 触る。邪魔になる。
- ② 同じ。そっくり。
- ③ 小さい。
- ④ 行動が早い。

あんな、ここの職場は方言があふれとるけん、ねきにおいでたらお寄りんか。心がぬくうならあーい。(N.T)



### 《センター長のつぶやき》

189 (いちはやく) って何?

虐待をなくそうと令和元年 12月3日から、虐待対応ダイヤル189 (いちはやく) が開設された。

いつでも、どこからでも近くの児童相談所につながる。匿名でも大丈夫、秘密も守られる。

虐待かなと思ったら

「189 (いちはやく)」へ。

そして「虐待をなくそう」が世界共通の合言葉に、いちはやくなしてほしい。

もちろん伊予市子ども総合センターへもご相談ください。(DOIG)



### 発達支援巡回相談

鬼は外

令和3年の節分は2月2日でした。

いつものように園に巡回に行くと、園全体が誰もいないかのようにひっそりとしています。こっそり教室を覗くと、未満児たちが先生を囲むように半径1メートル位の中で静かに遊んでいました。走り回る子は一人もいません。隣の部屋の大きい子たちも部屋の中で先生の近くでおとなしく遊んでいます。

園長先生のお話によると、豆まきをしたら、鬼が怖くて、ほぼ全員泣いたそうです。その後、それはいい子で遊んでいるのだそうです。中には、先生と一緒にないとトイレにもいけない子もいたそうです。

子どもたちは怖い存在を感じながら、先生に支えられて育っていきます。今、コロナ禍でも、私たち大人が子どもたちを支えていけるよう強い心を持ちたいものだと思います。

(A)



伊予市子ども総合センター

伊予市総合保健福祉センター2F

☎989-6226

伊予市子ども総合センター